

安全データシート

1. 製品及び会社情報

整理番号 01-011
製品名 コンドル消毒液
会社情報 会社名 山崎産業株式会社
住 所 兵庫県伊丹市北伊丹6-67
電話番号 072-782-0991
F A X 番号 072-770-5779

2. 危険物有害性の要約

最重要危険有害性及び影響：

GHS分類

物理化学的危険性	対象外
健康に対する有害性：	
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	
水性環境有害性・急性	区分1
水性環境有害性・慢性	区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水棲生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手などをよく洗うこと
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚をシャワーで洗うこと。

保管 廃棄	<p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>直ちに医師に連絡すること。</p> <p>特別な処置が緊急に必要である（応急措置の項目を見よ）。</p> <p>皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。</p> <p>汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>漏出物を回収すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に委託して廃棄すること。</p>
----------	--

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（水溶液）		
化学名	非イオン界面活性剤	化審法	C A S 番号
	塩化ベンザ [®] ルコニウム	非開示	非開示
	イソプロピルアルコール	3-2694	68391-01-5
	防腐剤	(2)-207	67-63-0
	水	(2)-3456	55406-53-6
危険有害成分	含有せず		

4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に触れた場合	直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	こすらずに、すぐ清浄な水で最低15分間目を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。 洗眼の際、まぶたを指でよく開いてまぶた・眼球のすみずみまで水がよく行きわたるように洗う。もし、コンタクトレンズを使用の場合はできるだけ取りのぞいて洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等適切な保護具を着用する。 漏出物を回収すること。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特定危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特定の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスク等）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法	少量の場合、吸着剤（土・砂等）で吸着させ取り除いた後、残りを

二次災害の防止策

大量の水で洗い流す。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから、ドラム等に回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備す
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の設備を設置する。
注意事項 眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱い注意事項 作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 直射日光を避け、通気の良い暗所で容器を密閉して施錠し保管する。
保管温度は0℃～30℃が望ましい。
安全な容器包装材料 製品使用容器に準ずる。ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用する。

8. 暴露防止 および 保護措置

設備対策 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度
管理濃度 設定されていない。
日本産業衛生学会（2001年度版） 設定されていない。
ACGIH（2001年度版） 設定されていない。

保護具

呼吸用の保護具 有機ガス用マスクを用いる。
手の保護具 不浸透性(耐薬品、耐油)保護手袋
眼の保護具 側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣
適切な衛生対策 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的 および 化学的性質

物理的状態

形状 液体
色 半透明色
臭い わずかにアルコールの臭いがする
pH 4.8～5.8（製品）

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 データなし
融点（流動点） -5℃以下
分解温度 データなし
引火点 データなし
発火点 データなし

爆発特性

爆発限界 データなし
蒸気圧 データなし
蒸気密度 データなし
密度 1.003 (d20/4)
粘度 データなし

溶解性	
水溶解性	水と任意に相溶する。
溶媒溶解性	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件で安定。
反応性	自己反応性なし。
避けるべき条件	情報なし
避けるべき材料	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
その他	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体・蒸気）	データがなく分類できない
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト）	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分1
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分外
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分外
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分2
オゾン層への有害性	データがなく分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制	航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。
国連分類・国連番号	国連の分類基準に該当しない。
指針番号	171
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

国内適用法	
化審法	特定化学物質、監視化学物質を含有しない
消防法	該当しない
労働安全衛生法：第57条-施行令第18条-名称等を表示すべき危険物および有害物	第1号別表第9の494 イソプロピルアルコール 0.1%以上
労働安全衛生法：第57条の2-施行令第18条の2-名称等を表示すべき危険物および有害物	別表第9の494 イソプロピルアルコール 0.1%以上
毒劇物法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
火薬類取締法	該当しない
高圧ガス保安法	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
海外物質登録情報	
EINECS No.	収載（ポリマー定義物質を含む）

16. その他の情報

本品としての危険有害性の評価は必ずしも十分でないため、保護具を着用し注意して取り扱って下さい。
また、全ての化学品は、同一物質でも使用環境や使用者の体質・体調などにより、危険性や健康面への影響などが一様ではありませんので、取扱いに十分注意してください。
主な参考文献：独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）公表データ、国際化学物質安全カード（ICSC）